

猫以外のペットを飼う時

犬：

猫以外で、猫と同居しているペットとしては、やはり犬が最も多いのではないのでしょうか。社会化期のところで述べたように、**幼い頃から犬と猫を飼ってあげれば良い友達になれます。**

従って今飼っている猫が現在社会化期で、新しく飼う犬も社会化期の子犬であればあれば全く問題はないでしょう。

もうすでに大人である場合には少し慎重に考える必要があります。あなたが今飼っている猫が社会化期に犬と絆を結んでおり、相手の犬が社会化期の子犬かあるいは猫との社会化が出来ているような場合には比較的うまくいきます。

もうすでに大人でしかもお互いの種に対する社会化が出来ていない場合には飼うことをあきらめるか、さまざまなトラブルを覚悟しなければなりません。

我が家のもみぞうは犬のマイムの散歩で拾った猫です。小さい頃からずっとマイムと一緒にだったのでマイムのそばで寝る事も平気です。プリアの方は小さい頃から犬と接した事がなかったので、犬に対する社会化はできていません。マイムを見て最初は「フーフー」「シャーシャー」大変でした。幸いマイムはとてもおとなしい性格で、プリアに攻撃されても全く追いかけたり、吠えたりしなかったのが最後にはある程度距離をもっていけば平気になりました。

このように時間の経過とともにお互いの存在に慣れて、けんかをする事はなくなる場合もあります。しかしながら若い時期に絆を結んでいなければ、仲良くなるまでには至らない場合が多いようです。

導入の方法については猫同士の場合と同様に、**最初はニューフェイスの方をケージなどに入れておき、少しずつ慣らすのが良いでしょう。**（新しい猫を前からいる猫に紹介する方法の項を参照）

そして必ず、犬がやってくる事が出来ない場所、すなわち猫が安心してくつろげる場所を作ってあげる必要があります。猫のお気に入りの場所に犬が入っていけないように柵をつけたり、入り口を狭くす

るのも良いでしょう。またできるだけ犬が上がることの出来ない、高い場所に猫の休めるスペースを作ってあげると良いでしょう。

さらに猫用のトイレのそばに犬がうろうろすると、猫がトイレで排泄しなくなってしまう事もあります。猫が安心して用が足せるように、トイレの場所も工夫しましょう。



小動物：

新しく飼うペットが小鳥やハムスターなどの猫の捕食の対象となるような小動物の場合は、猫がかなり小さい時から一緒に飼う必要があります。何故なら猫は本能的にこれらの動物を襲って、傷つけたり殺してしまう危険性があるからです。

ある研究によると母猫がネズミを殺すのを見て育った猫はすべてネズミを殺すようになり、それを見ずに育った猫も半数がネズミを殺すようになったそうです。しかしながら若い頃にネズミと一緒に育った猫はネズミを殺さなかったのだそうです。

従って今いる猫があなたが新しく飼いたいと思っている小動物と一緒に育ったのであれば一緒に飼うにあたっては、徹底的な監視が必要です。

実際には一つ屋根の下で、捕食する動物と捕食される動物が平和に暮らすことはよほど注意していなければ不可能で、ついうっかりが小動物の命を奪ってしまう惨事を引き起こしてしまいます。

最近ペットとして人気のハムスターはケージで飼っていることが多いので大丈夫と思っていらっしゃる方が多いのですが、ハムスターはケージから脱走するのがとても上手なのです。

脱走中のハムスターを見つけるのは、人間よりも猫の方がずっと早く、狭い所に入りこんだハムスターも爪でひっかけて捕まえてしまいます。またケージを猫がうまく開けてしまう可能性もあります。そして一度この楽しみを覚えてしまった猫は、ますます執拗にこれらの小動物を狙うようになるのです。

従ってあなたの猫がまだ社会化期の子猫であるか、幼いころに今飼いたいと思っている動物と絆を結んだ経験がないのであれば、猫と小動物を同居させるのは考えなおした方が良いでしょう。

このペーパーは株ペット・ペット社が提供する

PET LOVERS' FORUM (<http://www.pet-vet.or.jp>)で、もみの木動物病院 村田香織先生が提供されたものを一部改編して作成しております。

イラスト著作：くぼじょうこ



このペーパーは下記当院のインターネットホームページで24時間無料で取り出せます。また、ホームページには他にも様々な情報が掲載してありますので、ぜひご覧ください。



Copyright (C) 2001 Tatsuya Fukuyama DVM , AFP IKI ISLAND VETERINARY CLINIC.
Tel 0920-47-6767 Fax 0920-47-0350 e-mail: foffice@bronze.ocn.ne.jp
<http://www.ikikoku.com/pet.html>